

報道関係者各位

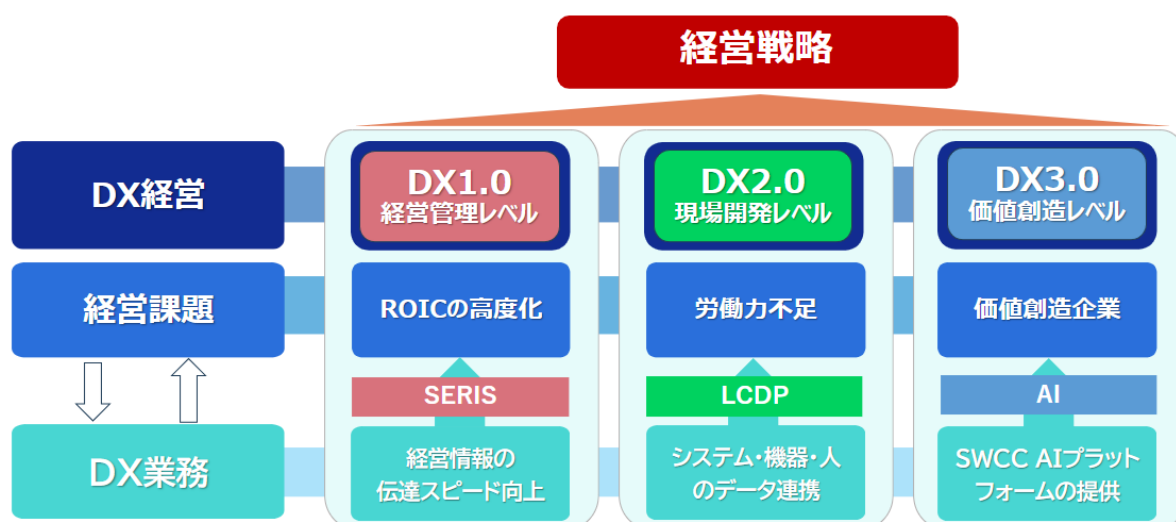
2025 年 10 月 22 日
S W C C 株 式 会 社

価値創造企業への進化に向けた DX 経営の加速 ～「ROIC 経営の高度化」と「ソリューション提案型企業」への変革～

SWCC株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員：小又哲夫、以下「当社」）は、ROIC 経営のさらなる高度化と、2030 年における「ソリューション提案型企業」への変革を目指し、新たな経営戦略の一つとして、デジタル技術の中核に据えた 3 つの DX 戦略（デジタルトランスフォーメーション）を推進していきます。この「加速する当社の DX 経営」についてお知らせいたします。

■推進体制の強化

DX 戦略の推進体制として、「情報システム部」および「デジタルイノベーション推進室」に 2025 年 10 月よりグループ会社である株式会社アクシオから IT 人財を迎え入れ、約 30 名体制へと強化していきます。グループ全体で DX 戦略を展開し、各部門における AI や LCDP（ローコードツール）の活用を通じて、日常業務の課題を創造的に解決する力を高めていきます。



■3つのDX戦略

① 経営管理レベル（DX1.0）

当社グループ共通の統合基幹システムとして開発・導入された「SERIS（SWCC-group Enterprise Resource Integrated System、読み方：セリス）」は、営業、製造、管理などの各業務をグループ全体で統一化することにより、経営情報の伝達スピードを効率的かつ最適に向上させるものです。本システムは、データに基づく戦略的意思決定を可能にし、ROIC 経営のさらなる高度化、資本効率の向上、そしてフリー・キャッシュフローの最大化を実現していきます。

② 現場開発レベル（DX2.0）

プログラミングの知識がなくてもアプリ開発が可能な LCDP を導入し、業務のスキルや経験への依存度を抑え、少人数かつ多様な人財による現場運営を実現します。各部門で LCDP を活用することで、システム・機器・人のデータ連携を促進し、自動化・省人化を実現していきます。労働力不足という経営課題に対応するとともに、1人あたりの稼働力を向上させていきます。現在、LCDP を活用する人員は 640 人（普及率約 43%）であり、今後、持続的に増加させていきます。

③ 価値創造レベル（DX3.0）

当社は、高度な AI 技術をグループ全体で最大限に活用するため、独自の生成 AI モデル「SWCC_GPT」の開発を推進しています。AI の活用により、ルーティン業務を効率化し、より創造的な業務に集中できる環境を提供します。さらに、データに基づく分析結果や思考プロセスの提案を活用することで、業務スタイルの変革を促進し、イノベーションの推進を図ります。

■今後の展望とビジョン

当社グループは DX 経営を加速させ、デジタルと業務の融合による業務改革を実践し、未来への成長戦略を拡大してまいります。

SWCC パーパス「いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへ。」に基づき、新たなソリューションを提案し、それを未来の“あたりまえ”へと変えていくことを目指し、社会への持続的な貢献を実現してまいります。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

SWCC株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報グループ
inq-sonota@swcc-g.com